

## 令和2年度第2回練馬区立美術館運営協議会 要録

日時：令和3年3月24日（水）午後2時

場所：サンライフ練馬3階研修室

出席委員 高橋幸次会長、島田紘一呂副会長  
青木茂委員、伊豆井秀一委員、佐藤康宏委員、島田紀夫委員、内藤正人委員、  
馬淵明子委員、小川けいこ委員、高口ようこ委員、富田けんじ委員、  
きみがき圭子委員、須藤麻世委員、齋藤宜子委員、畑智江子委員、  
吉田巳蔵委員、江川誠志委員

区職員 小金井地域文化部長、稲永文化・生涯学習課長

会 長：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。  
ただいまから、令和2年度第2回練馬区立美術館運営協議会を開催いたします。  
新型コロナウイルス感染防止に鑑み、今回の会議は接触機会の低減のため、  
内容を精査したうえで、1時間以内を目途に会議を終了したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。  
はじめに、小金井地域文化部長よりご挨拶いただきます。

部 長：美術館もコロナ禍で様々な影響が出ております。練馬区立美術館としては、昨年春に大型展として予定していたショパン展の会期が半分となり、前回の協議会でご報告したところでした。その後も、コロナ禍でもできるだけのことをしようということで、館長を筆頭に様々な工夫をしながら現在に至っております。本日の内容は今年度の振り返りと来年度の計画についてです。来年度の計画は財政状況もコロナの影響を大きく受けている中で計画を立てたものです。ぜひ、忌憚のないご意見をお願いいたします。

会 長：ありがとうございました。  
それでは、議事に入る前に、委員の出席状況について、事務局から報告してください。

課 長：本日は、委員1名から欠席のご連絡がありました。今期委員は18名、現在17名の出席でございます。従いまして、美術館運営協議会条例第7条第2項の規定により、本日の協議会は成立いたしました。なお、傍聴希望者はありません。以上ご報告いたします。

会 長：ありがとうございました。  
はじめに、本日の議事の進行についてお諮りいたします。  
次第の審議事項1、「令和3年度事業計画（案）」から、順次、事務局より説明を受け、議題ごとに質問等を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なしの声>

会 長：それでは、「令和3年度事業計画（案）」について説明をお願いします。

館 長：＜「令和3年度事業計画（案）」について説明…館長、担当学芸員、課長＞

会 長：「令和3年度事業計画（案）」について、質問等がありましたらお願いします。

委 員：2点伺いたいことがあります。

1点目としては、親子で楽しめる等のワークショップはどのようなものを考えていらっしゃるでしょうか。また、ねりびラボについては、今年度自分も落選したこともあり、定員数を増やしていただきたいと思っております。

学芸員：今年度のワークショップは夏休みに実施できませんでしたが、来年度は夏休みに3～4事業の実施を考えております。貫井図書館や他の施設と共同して実施するものや、幼児向けのもの、親子向けのもの、小中学生向けのものなどを考えております。具体的な内容については、現在検討中です。  
今年度のねりびラボは100名程度の応募者がありました。今後もぜひご応募ください。

委 員：ありがとうございます。

人気のある講座だと思っておりますので、たくさんの方が参加できるようにしていただけたらと思っております。

2点目は全体的な話になりますが、新型コロナウイルスの感染者が発生してから1年が経ち、当初の病気に対する不安が大きかったところから、どのような社会にしていっていいのだろうと考えるようになってきて、アートの力がとても期待されていると思っております。先程のピーター・シス展の説明で、今の社会情勢を踏まえての企画（シスはソ連支配下で表現の自由を奪われたことが表現の原動力となっている作家であり、現在の社会情勢でも一市民が自由を抑圧される状況であることから、シスの生の体験を見ていただきたいと考え企画した）とのことでしたので、今の時代に求められているものと考えていると思っておりました。

コロナ禍を経て、これからの社会や生き方に希望を感じられるような内容になったら良いと思っておりますが、そのあたりはいかがでしょうか。

館 長：まさにおっしゃられるとおりで、昨年は暮らしの基本的な安全・安心が脅かされるような状況が続き、その中で心の満足が求められていきますので、美術館としてはそのようなものに沿って展覧会を作り上げていったり、教育普及事業を実施したりしたいと、改めて思っております。区民の皆様にご寄り添うような形で文化政策を行っていきたいと考えております。

会 長：他に質問等がありますでしょうか。

委 員：収支の中の樹木剪定に関わる場所についてです。美術の森緑地の動物の彫刻等はとても素晴らしいと思っておりますが、芝生については、日本芝は理想ではありますが、養生のために子どもたちが入れなくなる期間が長くなるのは良

くないと思っています。国立美術館や東京都美術館はそのような予算も含めて確保しているので、常に芝生がきれいに整備されていると思います。練馬区立美術館はそこまでの予算がなく、美術の森緑地は公園のような感じです。西洋芝やクローバーのような、子どもたちが踏んでもよいような強いものに変えていったほうが、常に緑がきれいで、子どもたちも遠慮しないで走り回れると思いますが、いかがでしょうか。

課長：区で芝生の管理をしておりますので、私からお答えいたします。  
今ちょうど養生ということで芝生の一部に囲いをしております。確かに、お子さんが遊ぶ場所ですので、囲いをする期間が短い方がいいということは念頭においております。日本芝だけではなく、マットと併用したもの等で今後も工夫をしながらやっていきたいと考えております。

部長：補足ですが、あれだけの人数が利用していると、芝だけでは難しいことは承知しています。美術館の再整備の際に検討しなければならないと考えております。

委員：よろしくお願いいいたします。  
お子さん向けの教育普及事業についてですが、例えば自宅でできる夏休み向けの工作キットの配布等も検討していただきたいです。  
また、もう一つ要望です。来年度の展覧会は面白いラインナップであり、その中でもピーター・シス展は素晴らしいと思いました。担当学芸員は過去の展覧会でも印象派や鹿島茂コレクション等フランスのものを持ち込み、練馬区立美術館に新風を吹き込んできていると思います。  
ピーター・シスはチェコ出身の作家であり、チェコはビロード革命やプラハの春等歴史的な背景もあるので、展覧会をととても楽しみにしています。今後、チェコ出身のカレルチャペックやヨゼフ・ラダの展覧会等もやっていただきたいです。

会長：他にありますでしょうか。

委員：今年度はコロナ禍のため教育普及活動が中止になる等、いろいろ大変だったと思います。その代替として、「ねりびチャンネル」を開設、配信されていたと思います。企画展は時代に応じて所蔵品を新しい視点で展開して、魅力的なものになっていると思います。  
美術館に行きたくても行けない方のために、「ねりびチャンネル」のような、自宅で楽しめるような試みを来年度以降も企画されているのかをお聞かせいただけますか。

館長：リアルとバーチャルの両方で美術館活動を展開するのは、今のトレンドでもあるので、練馬区立美術館としても可能性があれば展開していきたいのですが、実施していくための人材や予算については厳しいものがあります。中途半端にやって続かないとなるのもよろしくないと思いますので、断念することなく可能性は追求していきたいと考えておりますが、まずは、来館された方を第一に考えております。

会 長：他にありますでしょうか。

委 員：講演会についてですが、対象者を「中学生から」としてはいますが、中学生向けということでしょうか。それとも、高校生以上を含めた広い年齢の方を対象としているのでしょうか。

学芸員：講演会の対象については以前から同じ表記になっておりますが、基本的に大人向けの内容となっております。中学生や高校生でも聞ける方もいるため、大人だけではなく幅広い年齢の方に来ていただきたいということで、このような表記になっております。

委 員：小学生はいろいろなことに興味がある年代ですが、中学生は好みがはっきり分かれてくる年代でもあると思います。今後、中学生を対象としたような企画をしていただければと思います。

会 長：他にありますでしょうか。

委 員：ピーター・シス展の作られ方についてお伺いいたします。展示作品150点は既にパッケージとしてできていて、どこかを巡回したというようなものでしょうか。

学芸員：まだパッケージになっておらず、私の方でパッケージにするという感じです。アメリカのエリック・カールミュージアムがピーター・シスの原稿の管理をしております。伊丹美術館も参加するので、伊丹美術館の学芸員と企画会社と3人でその原稿の中から展示作品を選んでいきます。シス氏もご健在で連絡を取り合うこともできるため、新作の原画を借りる交渉もしており、現在パッケージにしているという状況です。

委 員：パッケージにした後、伊丹美術館の他にも巡回する予定はありますか。

学芸員：伊丹美術館は現在閉館中で、次に開館するのは2023年ということです。2021年に練馬区で開催後、2023年までに2館ぐらゐの巡回を考えております。手を挙げている美術館はありますが、まだ決定はしておりません。

委 員：このような手作りの展覧会はとてもやりがいがあると思います。コロナ禍のため、実際に見て選ぶようなことができないかと思いますが、どのようにされているのでしょうか。

学芸員：実際に見に行くことはできないので、現地にいる方に代理で行っていただき、遠隔でお願いする形をとっています。一度こちらから選んだものを一手に集めていただき、現地で頼んだ方にまとめて見に行ってください、撮影した写真をこちらに送っていただくというよう作業をお願いしています。通常でしたらエリック・カールミュージアムの学芸員が作品責任者として付いて来るのですが、

今回はコロナの状況によっては無しとなるような契約になっています。

委員：大変ですけど、頑張ってください。

会長：他にありますでしょうか。

委員：「8つの意表」展についてです。何でもコロナの所為にするなという意見もありますが、作品を外国から持って来たり国内で検討するにも、人的な交流もできないような時期なので、コレクションでテーマを作るのは大変良いことだと思いますし、これから多くなると思います。

国立の美術館等とは違って、公立の美術館ではコレクションがあまりないということもありますが、練馬区の場合は、練馬区関連という制約はありますが、作品がたくさんあってこのような展覧会ができるというのは大変良いことだと思います。

「8つの意表」展は8人の作家の個展形式ということで、練馬区にゆかりのある作家の紹介と、その作家の作品が美術館にあるという紹介も必要だとは思いますが、次の段階としては、作家を横断してテーマで組み立てる展覧会を開催する努力も進めていただきたいと思います。現在開催している電線絵画展は大変おもしろいと思いますし、このようなものをいつもやるというのは難しいとは思いますが、学芸員の腕の見せ所だとも思います。

副館長：今回は練馬区在住の方等練馬区にゆかりのある方を中心に選びましたが、先生のおっしゃるように、個展形式だけではなく、いろいろな展覧会の作り方があってと思います。今後、コレクション展やコラボレーション展等も考えられると思いますので、研究してみなさんに喜んでいただけるようなものを作ってきてたいと思います。

会長：他にありますでしょうか。

他に質問がなければ、「令和3年度事業計画」について承認とさせていただきます。

次に、次第の報告事項2、「令和2年度事業報告（中間報告）」について、説明をお願いします。

館長：＜「令和2年度事業計画（中間報告）」について説明… 館長、担当学芸員＞

会長：説明ありがとうございました。

「令和2年度事業計画（中間報告）」について、質問等がありましたらお願いいたします。

委員：新型コロナウイルス感染症対策についてです。現在、受付では来館者の検温を実施していないようですが、入館時に検温を実施していただきたいです。東京都は現在、感染者の下げ止まりの状況であり、美術館の安全と安心をPRしていただきたいということもありますが、いかがでしょうか。

課 長：4月以降はサーマルカメラの設置を予定しております。来館時にサーマルカメラに映るご自分の顔を見て体温を確認できるようなものを導入いたします。

委 員：ありがとうございました。やはり見る側からすると、熱がないというのは安全・安心の一つのバロメーターになると思います。

会 長：その他にありませんか。

委 員：今年度もいくつか展覧会に行かせていただきました。今日この会議の前にも電線絵画展に行かせていただき、とても面白かったです。悪者になりがちな電線のイメージが変わり、自分が見る街の風景が変わりそうだなと思ました。こういった新しい価値観が自分の中に入ってくるところ等、美術館っていいなと思いました。また、再構築展や式場展もそうでしたが、自分の知らない世界を見せていただいたのが、とても楽しかったです。一方で、シヨパン展や小中学校の書初め展等は延期や中止になったとのことですが、今後、新型コロナウイルス感染症の状況により展覧会を休止や中止にすることがありうるのか、なるべく続けていくように対応するのか等を伺えればと思います。

課 長：美術館の開館の状況につきましては、国の方針、都の方針に基づき、区全体の施設の方針を決めています。4月の制限の際も、練馬区は比較的開館をしている方ではなかったかと思っています。今後も国や都の動向を見ながら、区の施設の開館について決定していきたいと思っています。

会 長：その他にいかがでしょうか。

他に質問がなければ、「令和2年度事業報告（中間報告）」について、承認とさせていただきます。

次に、次第の3「その他」に入ります。事務局から何かありますか。

課 長：事務局から一点ご報告させていただきます。

練馬区の美術館再整備基本構想の策定についてです。令和元年11月に策定委員会から提言をいただき、今年度それを基に構想を策定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり1年延期しております。来年度に美術館再整備基本構想を策定し、その後、設計者選定を経て設計等に進んでいく予定です。報告は以上です。

会 長：美術館再整備基本構想について、質問等がありますか。

質問がなければ、以上で令和2年度第2回美術館運営協議会を終了いたします。本日はご協力ありがとうございました。